

# CONTENTS

グループ理念、行動指針、編集方針	2
会社概要・グループ会社一覧	3
トップメッセージ	4
グループ経営ビジョン 2020「挑む」	6

## [特集]

<安全>「安全」への取り組み	10
<環境>グループ各社が取り組む さまざまな環境アクション	12
<社会>お客さまの“声”をかたちに 駅や車両をもっと快適に	14
<社会>鉄道の技術と文化を“未来”へ 参加体験型ミュージアム「鉄道博物館」	15

## [安全]

「究極の安全」をめざして	16
--------------	----

## [環境]

基本的な考え方と目標	22
地球温暖化防止への取り組み	24
資源循環への取り組み	28
沿線での環境活動	29
環境コミュニケーション	30
環境保全技術	31
環境マネジメント	32
グループ全体の環境負荷	33
環境目標と実績	34

## [社会]

お客さまとの関わり	36
地域社会との関わり	40
社員との関わり	42
信頼を得るために	44

第三者審査報告書、第三者意見、今後の展望	46
社会環境活動のあゆみ、編集後記	47

## グループ理念

JR東日本グループは、駅と鉄道を中心として、良質で時代の先端を行くサービスを提供する活力ある企業グループをめざします。

そのために、グループで働く一人ひとりが、お客さまの視点に立ち、安全・正確な輸送、利用しやすく質の高い商品・サービスの提供に努めるとともに、より一層のお客さまの信頼を得るために、サービスレベルと技術水準の向上に向けて、挑戦を続けます。

私たちは、お客さまとともに歩み、「信頼される生活サービス創造グループ」として、社会的責任の遂行と利益の創出とを両立し、グループの持続的成長をめざします。

## 行動指針

### お客さま第一

私たちは、まごころをこめたサービスを行い、お客さまのご期待を実現します

### 安全・品質の確保

私たちは、安全・正確な輸送と質の高い商品・サービスの提供に徹します

### グループの発展

私たちは、自律と連携、チャレンジ精神で、グループの成長を全員でめざします

## 編集方針

本報告書は、JR東日本グループにおける社会環境活動について、正確かつわかりやすくご紹介することを目的として発行しており、本年は2008年3月31日に発表した「グループ経営ビジョン2020「挑む」」をふまえたものとしました。また、JR東日本グループの社会的責任について、特に重要な取り組みについて「特集」で取り上げたほか、グループ全体での取り組みを重視しました。

本編は「安全」「環境」「社会」の3側面から取り組みや考え方をご説明するものとしたほか、編集にあたっては、昨年ひきつづき第一線で社会環境活動を担っている社員の声をご紹介することに努めました。

また、本年から一部の環境活動の情報をホームページ上の開示に変更しました。移管した情報項目につきましては本報告書上に掲載しています。

**参照した  
ガイドライン** 環境報告ガイドライン(2007年版)【環境省】  
環境会計ガイドライン(2005年版)【環境省】

**対象期間** 2007年4月～2008年3月(実績データに関しては、2007年度を対象期間としましたが、活動内容については一部それ以前のもの、および本書発行直近のものも含んでいます)

**対象範囲** JR東日本とJR東日本グループ82社※1

※1 JR東日本とJR東日本グループ82社  
2007年度末時点。ただし2008年4月「(株)JR東日本グリーンパートナーズ」が新たに設立されております。